

No.110

2021 春号

[Ecology Miyazaki 2021 SPRING]

ecoみやざき

／ 環境ひむか ／

環境
保全

川や海にやさしい
暮らしをはじめましょう

自然
保護

萩の台公園 トンボ池(ビオトープ)
気軽に公園でビオトープを観察してみよう

ほらいがわ
祓川湧水園 (高原町)

川や海にやさしい暮らしを

はじめましょう

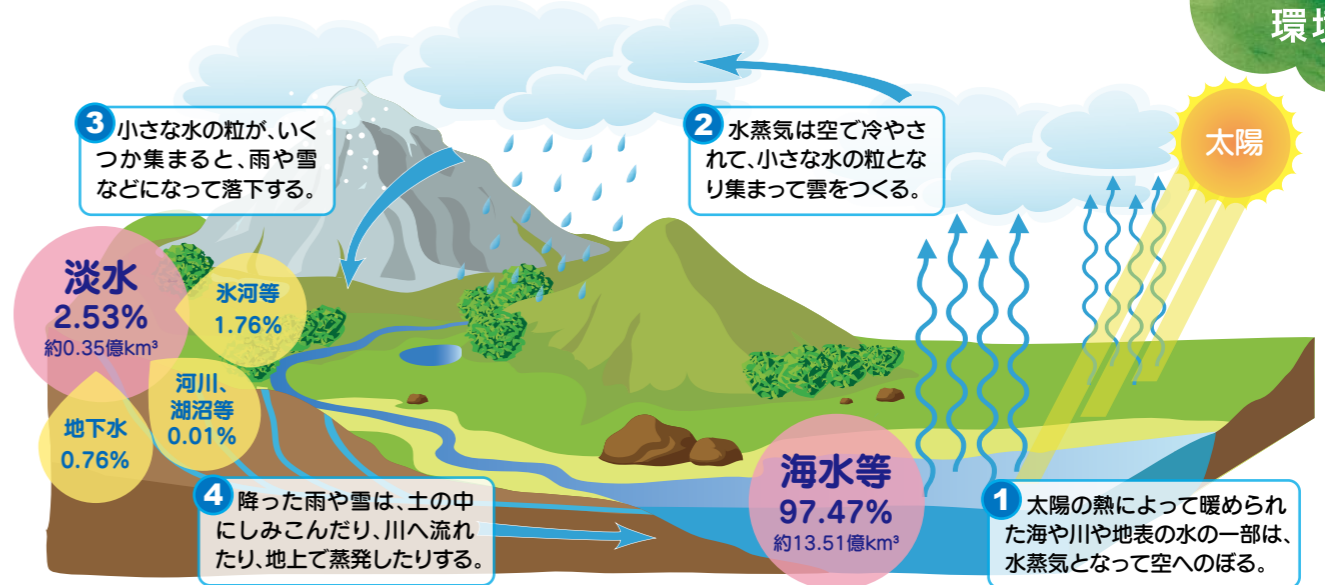
地球上のわずかな水で生きる私たち

地球上にある水のうち、約97・5%は海水で、淡水は約2・5%に過ぎません。しかも、淡水の多くは氷河や地下水で、私たちが利用しやすい河川水や湖沼水などの形で存在する水は、地球上のわずか0・01%なのです。

出典：日本の水資源の現況 (https://www.wri.it.go.jp/common/001371908.pdf)

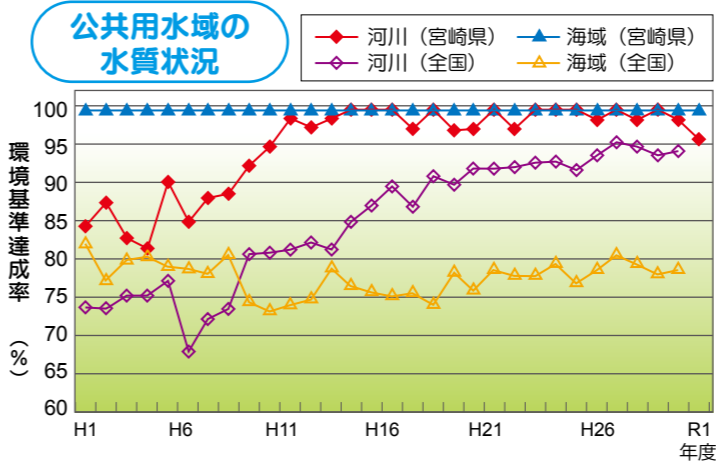
巡りめぐる水の循環

海や川の水は、太陽にあたためられることで、一部が水蒸気となって空へ昇ります。その水蒸気は上空で冷やされて雲をつくり、やがて雨や雪となって再び地上へ降り注ぎます。このように水は姿を変え、大気と地表の間を循環しているのです。



宮崎県の川はキレイなの？

宮崎県には、九州山地から太平洋に注ぐ多くの川が存在します。しかし、人口や地域の産業によって川の汚れは大きく異なり、上流と下流でも環境に差が出ます。そこで県では、海や川の汚れの状況を監視するため、



汚染の原因は私たちの生活に！

川が汚れる原因の大半は、私たちの生活に由来します。工場・事業場からは工業排水などが、そして私たちの家庭からは生活排水が排出され、川に環境に大きな影響を与えています。中でも、生活排水については私たち一人ひとりの意識や取組で改善できることが多く、これからの「川を汚さないための取組が重要になっていきます。」

生活排水とは？

1人が1日に使う水の量は250リットルにのぼり(※)、台所やトイレ、風呂、洗濯など毎日多くの生活排水を排出しています。このうち、トイレから出る排水を「し尿」、その他を「生活雑排水」といいます。生活排水は処理施設を通すことで浄化できますが、浄化のためには大量の水が使われるため、やはり環境には大きな負荷がかかります。普段、なにげなく流しているものが排水の汚れにつながるため、例えば、洗濯では適量の洗剤を使う、食器の油污は拭いてから洗つなど、ちょっとした工夫が必要です。

※資料「生活排水読本」(環境省)

生活排水の処理施設とは？

生活排水の処理施設には、下水道や合併処理浄化槽などがあります。処理施設が整備されていないと、汚れたままの水が川に排出されることになるため、宮崎県では地域の状況に応じた処理施設の整備を計画的に進めています。

県の生活排水処理状況

令和元年度末の生活排水処理率は82%でした。これは、全国平均の87%(平成30年度末)と比較して5ポイント低い値となっています。生活排水処理率は年々向上しているものの、まだ、宮崎県民の約5分の1が生活雑排水を未処理のまま河川等に放流しているという状況になります。

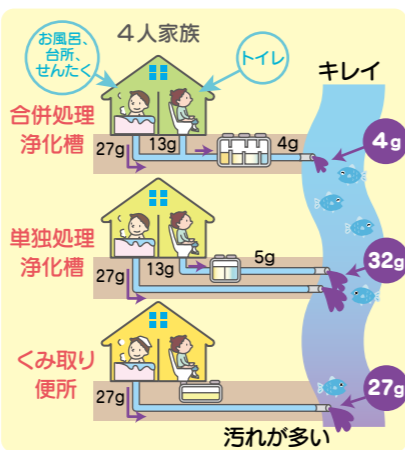
※生活排水処理率

地域の全人口に対して、生活排水が下水道や合併処理浄化槽等の生活排水処理施設によって処理されている人口の割合を言います。

地域の状況にあわせた生活排水の処理を進めよう

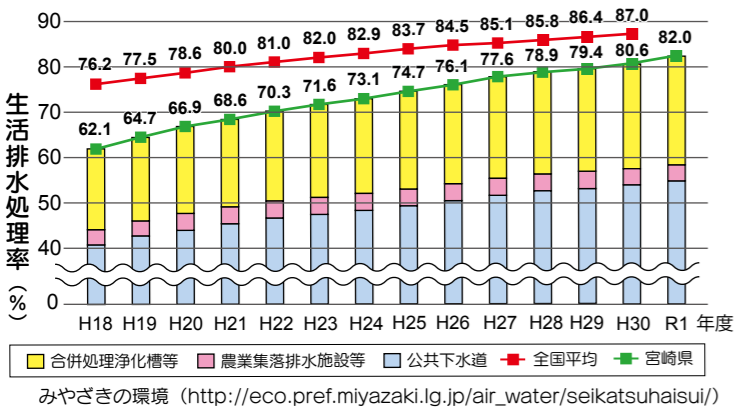
生活排水の処理施設には、2タイプあります。1つは集合処理施設で都市の公共下水道、農村や漁村に整備される集落排水施設などがあります。もう1つは、個別処理の合併処理浄化槽です。

集合処理施設の場合、施設が整備されても接続されなければ、排水は処理されません。集合処理施設の整備地域にお住まいの皆さまは、早期の接続をお願いします。



また、個別処理には、合併処理浄化槽以外に単独処理浄化槽やくみ取り便所があります。これらは、風呂や台所などの生活雑排水をそのまま流すことになり、河川などの水質悪化につながります。生活雑排水も言めたすべての排水を処理する合併処理浄化槽に転換しましょう。

宮崎県の生活排水処理率の推移



みやざきの環境 (http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/air_water/seikatsuhaisui/)



第24回「クリーンアップ宮崎」

令和2年11月8日(日)を中心に(各市町村等にて選定)県民総ぐるみの環境美化活動が全県下で行われました。

この活動は、県民が一丸となり各市町村等が選定する公園・海岸・道路等で一斉に環境美化活動を展開することにより、環境保全や自然保護に対する県民意識を高め、美しい自然と共生した環境にやさしい社会づくりを推進するものです。

コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった地域もありましたが、多くの方にご協力いただきました。誠にありがとうございました。

来年もご参加をお待ちしております。

- 参加者数
- 市町村等主催によるもの……83,242人
- 事業所等主催によるもの……968人
- 総計……84,210人



環境パネル展 2020

令和2年12月20日(日)に「環境パネル展2020」を開催しました。今回は、クリスマス前の休日ということもあり人通りも多く、約150名の方々にパネルを見ていただくことができました。

環境について関心と理解を深めていただくよい機会となりました。

お立ち寄りくださった皆様、ありがとうございました。

- 環境パネル展 2020
- 日時 令和2年12月20日(日)
- 会場 イオンモール宮崎 レストランコート
- 内容 環境に関するパネルの展示(地球温暖化防止等) 環境に関するクイズ・アンケート



ECO LIFE CALENDER 2021

「ECO LIFE CALENDER 2021」を作成しました。カレンダーでは、毎年環境に関する様々な情報を提供しています。2021版は、県民の方々に県内の豊かな自然を知ってもらい、環境保全の大切さを認識していただくため、県内のウォーキングコースを紹介しております。

コロナ禍でおうち時間が増えていることと思います。気分転換と運動不足の解消としてウォーキングコースを散策するのもおすすめです。

また、残りものの食材を使ったエコレシピや知って得するエコ知識も掲載しています。ぜひご利用ください。

※カレンダーについてのお問い合わせは、下記までご連絡下さい。



- 省エネルギー月間 (2/1~2/28)
- ウォームビズ期間 (11/1~3/31)
- 宮崎県緑化運動強化月間 (2/1~5/31)
- 地産地消の日 (毎月16日)

環境みやざき推進協議会の案内

環境みやざき推進協議会は、県民、事業者、行政等が協働して宮崎県域における地球温暖化防止等に関する様々な取組を推進しています。活動に御賛同いただける方の入会をお待ちしております。

環境ひろば URL: <http://www.miyazaki-kankyo.or.jp/hiroba/no164/index.html>

環境みやざき推進協議会事務局
TEL:0985-51-2077 FAX:0985-51-2086
E-mail:koueki@miyazaki-kankyo.or.jp

会費 無料 会員 募集中



浄化槽の適正管理について

水は私たちにとって必要不可欠なものであり、台所やお風呂、トイレなどで使用した生活排水は、海や川の水質汚濁の原因の一つになっています。生活排水は下水道や浄化槽などを通じて浄化され、再び海や川に戻り、私たちの飲み水や家庭で使用する水に循環しています。きれいな水を守るため、浄化槽は大切な役割を担っており、浄化槽管理者による適正な維持管理が求められています。

浄化槽の仕組み



浄化槽の維持管理

浄化槽を適正に管理するための3つの義務

保守点検

日常的なメンテナンス

清掃

おてい汚泥の引き抜きなど

法定検査

浄化槽の健康診断(年1回)

維持管理を適切に行わないと、本来の機能を発揮できず、周囲の環境を悪化させる原因になります。

合併処理浄化槽の設置には補助金が利用できます



単独処理浄化槽やくみ取り便槽をご利用のご家庭が合併処理浄化槽へ転換する場合、補助金を受けることができます。合併処理浄化槽を設置することで、し尿と生活雑排水をあわせて処理できるようになり、水をきれいにして川へ流せるようになります。

補助額や補助の条件は各市町村によって異なります。詳しくは各市町村の窓口でご確認ください。

合併処理浄化槽本体設置補助額の例

人槽区分	補助金
5人槽	332,000円
6~7人槽	414,000円
8~10人槽	548,000円

※上記に加え、今お使いの単独処理浄化槽の撤去費用(補助金例:90,000円)や、宅内配管工事費(補助金例:300,000円)等を補助している市町村もあります。

萩の台公園 トンボ池 (ビオトープ)

気軽に公園でビオトープを 観察してみよう



春の生き物観察会の様子です。

トンボ池のようなビオトープは
貴重な自然観察フィールド

2006年(平成18年)に開園した「萩の台公園」の中央には、自然にできた水たまりをビオトープとして整備したトンボ池があります。

トンボ池では、ヨシやガマ、カヤツリケサなどの水辺の植物をはじめ、トンボやチョウなどの様々な生物を観察することができます。

公園では、この池を主なフィールドとして、様々な生き物とふれあい、自然を通して多様性を学ぶクラブが活動しています。現在、29名の親子が活動しており、春・夏・秋には生き物の観察会、11月には環境保全のため、池のガマ刈りを行っています。

今年のガマ刈りは、コロナ感染症



萩の台公園の所長
米丸 淳一さん

【ビオトープとは】
もともとはギリシャ語で、ピオ(生き物)のトープ(住むところ)という意味の合成された言葉で、ドイツで生まれた新しい自然思想ですが、一般的には「本来その場所にいた、いる生き物が生活する場所」という意味です。
※同公園ホームページより抜粋

対策のため公園職員だけの作業となりましたが、12月にはすっきりとした景観になりました。

刈り取り集められたガマは、池周りにいる虫たちの、冬の寒さを持ちこたえるための大切な棲家(粗朶積み)となっています。

「1月下旬になるとカエルの卵を観察できるようになり、2月にはオタマジャクシが見られ、やや湿った土地で観察できるのは、黄色い花を咲かせるオオジシバリというキク科の植物です。だんだんと春の足音が近づいてきて、観察できる生物が増えてきます。」と、これからの見どころを話す公園所長の米丸淳一さん。

季節ごとに様々な生き物と出会うことができる公園へ、季節ごとに足を向けてみたいと思います。

公園ではトンボの定点観測を行っており、その観測結果はホームページなどで公開されています。昨年の3月には、アオモンイトトンボやモンキチョウの観察もできたようです。



11月にはガマの綿毛が飛び始め、幻想的な風景もトンボ池ならではです。



チョウのように舞うチョウトンボ。6月下旬から観察できます。



4月に観察されたギンヤンマの産卵の様子。メスは腹部の先端にある産卵管をガマに突き刺し、1粒ずつ産卵をします。



12月のトンボ池のガマ。池は深いところで110cmあり沼地のため足が抜けなくなるので、立ち入り禁止となっています。



ガマの特徴、白い綿毛。穂が熟すと白い綿毛が出てきます。この綿毛は雌花の集まりです。



アキアカネを12月に観察。



食虫植物のミミカキグサ。

自然保護は 観察することが第一歩

「自然との関わりを感じ、生命を尊重する気持ちを持って欲しい、という思いでクラブを運営しています。生き物の棲む場所は時代の変化と共に減少し、家の周りに田んぼや雑木林があるという環境も近年では少なくなっています。子どもたちには、自然にふれて昆虫や植物に心を動かされる中で、生命の不思議や尊さに気づき、命あるものとしていたわる心を、クラブ活動を通して育んでもらえたら嬉しいです。」と米丸所長。

将来はクラブのメンバーが主体で「トンボ池」を運営をしていくことを目指していると言います。自然観察からはじまる自然保護の芽を育くむ活動は4月がスタートです。



昨年12月のトンボ池クラブでイチヨウの苗木を植栽。寄贈した麻生晃さん(左)と蒲生良行さん(右)が銀杏から3年かけて苗木にしたものです。20年後には立派に成長することでしょう。

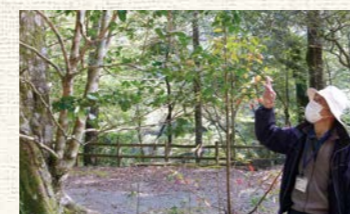
トンボ池クラブについての問い合わせ
萩の台公園管理事務所
☎ 0985-30-2163
ホームページ <http://www.mppf.or.jp/haginodai/>

自然保護推進員

綾町の森の案内人 ~照葉樹林の森を守りながら~

県立高校の学校事務の仕事で退職後、平成11年に綾町に移住した後藤司さん。森の案内人として、照葉樹林の自然散策コースのガイドをしています。県内外の子どもや大人はもちろん、外国人、視覚障がいや肢体不自由などの障がいがある人まで、綾の自然に触れてもらう活動を続けています。「退職後から、不登校の子どもを自然の中に連れ出すことを続けています。過酷な環境で生きる動植物の生態を見て学ぶことは多く、自然散策するうちに元気を取り戻していくなです」と後藤さん。花が咲く頃、新緑の頃など季節を変えて3回ぐらい森に連れて行き、自然の美しさに気持ちが向かうような話をしながらガイドしています。「300年の樹齢を持つイチイガンや岩に根を張った木を見せ、自発的に考えるように話しかけるんです。ドングリとゴム銃での自然遊びも取り入れます。五感で楽しむことで心が元気になるようです」。散策路が安全に利用できるか見守りもしているため、ガイド中に倒木などがあると役場に連絡もしています。森の案内をすることも、綾の照葉樹林を守ることにもつながっています。

をしながらガイドしています。「300年の樹齢を持つイチイガンや岩に根を張った木を見せ、自発的に考えるように話しかけるんです。ドングリとゴム銃での自然遊びも取り入れます。五感で楽しむことで心が元気になるようです」。散策路が安全に利用できるか見守りもしているため、ガイド中に倒木などがあると役場に連絡もしています。森の案内をすることも、綾の照葉樹林を守ることにもつながっています。



木の新芽を指して自然の力強さを教えてくれる後藤さん

私の自然保護活動



ごとう つかさ
後藤 司さん

インフォメーションスクエア

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止、変更になる場合もあります。詳細については、お問い合わせください。



イベント名	日時	内容	場所	お問い合わせ・お申し込み
春!アウトドアライフ inひなもり～山菜料理教室～	3月27日(土) 28日(日)	募集:50名 参加費:要問合せ(利用料実費、材料費実費)	ひなもり オートキャンプ場 (小林市)	宮崎県ひなもり台 県民ふれあいの森 ☎0984-23-8100 ※実施日より約1ヶ月前から受付開始
しいたけ栽培体験教室	2月21日(日)	定員:20家族 参加費:材料代1,500円、昼食代500円 ※原木は1家族5本です。	宮崎県林業技術センター「森とのふれあい施設」 (美郷町)	森の科学館 (宮崎県林業技術センター内) ☎0982-66-2004 ※実施日より約1ヶ月前から受付開始
桜の鑑賞会(桜まつり)	3月28日(日)	定員:小学生以上30名 参加費:無料、予約不要	川南遊学の森 (川南町)	(公社)宮崎県緑化推進機構 ☎0985-31-7759 ※実施日より約2ヶ月前から受付開始
シイタケ駒打ち体験教室	2月14日(日)	シイタケについて学び、シイタケ種ごま打ちの体験をすることにより、森の恵みに理解を深める。 定員:40名 参加費:無料	大淀川学習館 (宮崎市)	公益財団法人宮崎文化振興協会 大淀川学習館 ☎0985-20-5685 ※実施日より2ヶ月前から14日前まで受付 ◎申込み方法は、ホームページで確認を
山菜教室	3月28日(日)	遊学の森内を散策し、自生している山野菜を観察・採取し、試食することにより、森の恵みに理解を深める。 定員:30名 参加費:無料	宮崎県わかばき 青少年自然の家 (延岡市)	宮崎県わかばき 青少年自然の家 ☎0982-38-0272
シイタケの種駒打ちをしよう	2月28日(日) 10:00～	定員:5組 参加費:1000円	宮崎県青島 青少年自然の家 (宮崎市)	宮崎県青島青少年自然の家 ☎0985-58-1711
川の生き物で水質を調べよう	3月14日(日) 10:00～	定員:小学生以上5組 参加費:無料	宮崎県御池 青少年自然の家 (都城市)	宮崎県御池青少年自然の家 ☎0986-33-1414
食べられる野草を探してみよう	3月21日(日) 10:00～	定員:7組 参加費:100円		
すまいる家族大集合2	2月14日(日)	ファミリーキャンプで家族の絆を深めましょう! *日帰りです 参加人数:家族15組 参加費:要問合せ		
きらきらナイトⅠ・Ⅱ	Ⅰ: 2月6日(土) Ⅱ: 3月6日(土)	天体ドームや望遠鏡を用いての星空観察です。惑星や星座など冬の星空を楽しみましょう。 参加人数:大人・子ども50名 参加費:要問合せ		
わくわく自然の家まつり	2月23日(日)	参加費:無料		
防災スプリングフェスタ	3月7日(日)	参加費:要問合せ		
レッツトライ「山登り」	3月13日(土)	定員:子ども～大人40名 参加費:要問合せ		

2021年1月●日現在

県の環境教育関係窓口のご案内 (相談窓口)

環境分野担当窓口	課・担当	電話番号(直通)	環境分野担当窓口	課・担当	電話番号(直通)
環境全般	環境情報センター	☎0985-23-0322	ごみ減量 リサイクルなど	循環社会推進課 企画・リサイクル担当	☎0985-26-7081
地球温暖化 省エネルギー・ 新エネルギーなど	環境森林課 温暖化・新エネルギー対策担当	☎0985-26-7084	水環境保全	環境管理課 水保全対策担当	☎0985-26-7085
森林環境教育	環境森林課 豊かな森林づくり担当	☎0985-26-7153	野生動植物、 自然保護など	自然環境課 野生生物担当	☎0985-26-7291

宮崎県環境情報センター



環境学習なら 宮崎県環境情報センターへ

宮崎県立図書館1Fにある宮崎県環境情報センターでは、環境に関する資料の閲覧ができるほか、環境教材の貸出や環境保全アドバイザーの派遣、リサイクル工作などの環境講座や出前講座、次世代エネルギーパークの見学受付なども行っています。

- 利用時間** 9時～19時
- 休館日** 月曜日(祝日の場合、翌日以降の最初の平日)、年末年始、図書館整理及び特別整理期間
- 住所** 〒880-0031 宮崎県宮崎市船塚3-210-1 宮崎県立図書館1F
TEL0985-23-0322 FAX0985-26-4720
- E-mail** kankyojyoho@coral.ocn.ne.jp
- HP** <http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/center/>

「eco みやざき」に関するご意見・ご感想をお聞かせください

[発行・お問い合わせ先]

宮崎県環境森林部 環境森林課

〒880-8501 宮崎市橘通東2丁目10番1号
TEL.0985-26-7084 FAX.0985-26-7311

環境みやざき推進協議会

(事務局:公益財団法人宮崎県環境科学協会内)
〒880-0911 宮崎市大字田吉6258-20
TEL.0985-51-2077 FAX.0985-51-2086



みやざきの環境ホームページアドレス <http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/>

